

# 未来をつくる創造力 アンケート・自己評価ループリック

令和6年度実施

未来をつくる創造力	観点・レベル	1	2	3	4	5
		1年生				
			2年生			
				3年生		
課題を発見する「発想力」	科学的に探究可能な課題を発見し、研究する力	研究課題の設定が表面的であり、具体的な研究仮説になっていない。	やや深まった研究課題を設定しているが、仮説がやや的外れである。	部分的に科学的に検証可能な研究課題を設定し、仮説を立てて研究に取り組んでいる。	全体を通して科学的に検証可能な研究課題を設定し、仮説を立てて研究に取り組んでいる。	全体を通して科学的に検証可能な研究課題を設定し、先行研究・既有知識等をふまえて仮説を立てて研究に取り組んでいる。
		例：研究テーマを見つけ、「問い」を立てることができる。	例：研究テーマに関する知識や理解を広げ、研究で明らかにしたい「問い＝リサーチエスション」を立てることができる。	例：リサーチエスションに対する「予想される仮の答え＝仮説」を立てることができる。	例：仮説を検証するのに「適切な研究方法を挙げ」て、研究に取り組むことができる。	例：仮説を検証するのに「必要な科学的根拠（先行研究等）を挙げ」、研究に取り組むことができる。
研究を深化させる「思考力」	科学的に試行錯誤し、課題を解決する力	データを分析する方法が分かっていない。データや資料に基づいた科学的な考察ができていない。	データを分析しようとしているが、データを記録するにとどまっている。データや資料に基づいたやや深まった科学的な考察をしているが、まだ主観的である。	データを分析し調査の目的に応じデータを整理できている。部分的にデータや資料に基づいた科学的な考察をしている。	データを適切な証拠として利用できるように処理し、分析している。データや資料に基づいて科学的な考察ができています。	データを適切な証拠として利用できるように処理し、的確に分析している。データや資料に基づいて科学的な考察ができており、適切に表現できている。
		例：得られたデータをまとめることができない。	例：得られたデータをまとめることができる。	例：得られたデータを表やグラフで示し、それを説明できる。	例：得られたデータを示した表やグラフを科学的な根拠にして、研究に取り組むことができる。	例：得られたデータを示した表やグラフを科学的な根拠にして、研究に取り組むこと、その分析結果をもとに研究を進められる。
成果を広げる「発信力」	研究で得られた成果を世界により広く発信する力	研究成果の発信が他者に伝わる表現でない。	研究成果の発信がやや他者に伝わる表現である。	研究成果の発信が他者に伝わる表現である。	研究成果の発信が他者に的確に伝わる表現である。	研究成果の発信が他者に的確に伝わり、興味深く魅力的な表現である。
		例：研究の成果をまとめられない。	例：研究の成果を資料にまとめられる。	例：研究の成果を資料にまとめられ、発表できる。	例：研究の成果を見やすい資料にまとめられ、相手に合わせて発表できる。	例：研究の成果を見やすい資料にまとめられ、ジェスチャー等を交えながら相手に合わせて発表できる（質疑応答も含む）。
他者を理解する「共感力」	多様な意見を尊重しつつ、自分の考えをまとめる力	議論の場で、自身と異なる意見に尊重しようとしていない。	議論の場で、自身と異なる意見にも尊重しようとしている。	議論の場で、自身と異なる意見に尊重している。	自身と異なる意見にも尊重し、自身の研究に取り入れている。	自身と異なる意見にも尊重し、必要に応じて自身の研究に取り入れ、深化させることができている。
		例：他者の発表に対して質問したり、自身の発表への質疑に応じたりすることができない。	例：場当たりに、他者の発表に対して質問したり、自身の発表への質疑に応じたりすることができる。	例：準備をした上で、他者の発表に対して質問したり、自身の発表への質疑に応じたりすることができる。	例：他者の発表の良いところや、自身の発表への意見を踏まえて研究を進めることができる。	例：自身の発表への意見を分析し、具体的な計画を立てて、研究を進め、改善できている。